

カナダの大自然と四季折々の楽しみ by マピナクヤ

カナダはアメリカの北に隣接する、世界で2番目に大きな国です。首都はオタワ。

私はこの首都オタワに2年、夫の仕事の関係で住んでいました。アメリカの首都(ワシントンD. C.)と経済の中心地(ニューヨーク)が違うように、カナダの経済の中心地はトロントで、オタワはどちらかというと治安もよく、ゆったりとした土地柄だったように感じます。人々も謙虚で親切な人が多く、とても住みやすい土地だった印象があります。

カナダにも日本のように四季があり、北海道によく似た気候だと思いました。広大な土地の割に、実際に人が住める地域はせまく、領土の半分が森林で占められている、といわれるぐらい自然が豊かな国で、私もその自然の豊かさに魅せられた人間の一人です。

まずオタワでの冬のお楽しみは、ウィンタースポーツとクリスマス。オタワの中心を流れるリドー川。ここが冬にはカンカンに厚く凍って、天然のスケートリンクに変わります。その長さはギネスブックにのるほど。多くの人がここでのスケートを楽しみます。私は見るだけでしたけど、おもしろかったですよ。

それとクリスマスシーズンは、電気が安いせいもあって、たくさんの方が華やかな電飾に飾られてクリスマス気分を盛り上げています。見るだけでも楽しい気分になってきます。

そして夏。7月1日は「カナダデー」。カナダのお誕生日。お祭りです。緑も動物たちも生き生きしています。湖のほとりにはカナダがんやカモメなど、さまざまな動物が集まっています。

秋は日本とはまた違う紅葉が楽しめます。あちらの植物は日本の自然より、よりダイナミックな感じを受けました。

最後にクロリス。アメリカ大陸では珍しくないリス。でも全身が真っ黒のクロリスはカナダの主に東部でしか見られず、オタワでもあちこちに出没します。カナダ人の反応からすると、このかわいらしいリスは、日本でいうカラスのようなもので、やっかいな存在らしいのです。特に園芸や小鳥に餌をやるのを庭で楽しんでいるカナダ人には評判は悪く(種などを食べてしまうので)、私が「好きだ」と言うと、「冗談でしょう」という目で見られます。このクロリス、一年を通して元気に活動し、さまざまな表情を見せてくれた、愛すべき生き物です。

